

令和3年度 吹田市胃がん検診(胃内視鏡検査)実施状況

【令和3年11月末時点】

【用語について】

初回/非初回:過去3年度以内に、吹田市胃がん検診の胃部エックス線検査及び胃内視鏡検査の検診受診歴がある場合は「非初回」、受診歴がない場合は「初回」に分類。

要精検者:検診時に生検を受診した者と検診時には生検を受診しなかったが、ダブルチェックで胃がんまたはその疑いと判定され要再検査となった者

精検受診者:検診時の生検結果の報告があった者、精検実施医療機関から再検査結果の報告があった者並びに再検査受診者から、受診日、実施機関、再検査方法及び再検査結果の報告があった者

【受診率の算出方法】

対象者数＝国勢調査において報告された人数－(就業者数－農林水産従事者数)

※平成27年国勢調査をもとに算出

受診率＝{(前年度の受診者数)+(当該年度の受診者数)－(前年度及び当該年度における2年連続受診者数)}÷(当該年度の対象者数)×100

1 受診者数

令和2年1月～令和3年9月請求の受診者数は1,759名で、うち約6割が初回受診者であった。年齢階級別にみると70歳～74歳が最も多く、次いで50歳～54歳となっている。

表1-1 令和2年1月～令和3年9月請求胃がん検診(胃内視鏡検査)実績

年度	令和元年度 (令和2年1～3月)	令和2年度	令和3年度 (令和3年4～9月)	合計
受診者数(人)	115	1,033	611	1,759
初回受診者数(人)	81	701	338	1,120
初回の割合(%)	70.4%	67.9%	55.3%	63.7%

(参考) 胃がん集団検診(エックス線検査)実績

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (令和3年4～9月)	合計
受診者数(人)	3,071	1,342	458	4,871
初回受診者数(人)	993	280	97	1,370
初回の割合(%)	32.3%	20.9%	21.2%	28.1%

令和2年4月から胃部エックス線検査の対象を35歳以上から50歳以上に変更。

表1-2 推計対象者数から算出した受診率(50～69歳)

年度	令和元年度	令和2年度
対象数(人)	35,982	35,982
受診者数(人)	2,338	2,357
受診率(%)	6.5%	6.6%

受診者数は胃がん検診(胃内視鏡検査)と胃がん検診(胃エックス線検査)を合わせて算出しています。

表1-3 令和2年1月～令和3年9月請求胃がん検診(胃内視鏡検査)性別年齢階級別受診者数

年齢階級	受診者数(人)		
	男性	女性	合計
50～54歳	114	230	344
55～59歳	93	174	267
60～64歳	83	189	272
65～69歳	131	197	328
70～74歳	214	199	413
75～79歳	38	48	86
80歳以上	24	25	49
合計	697	1,062	1,759

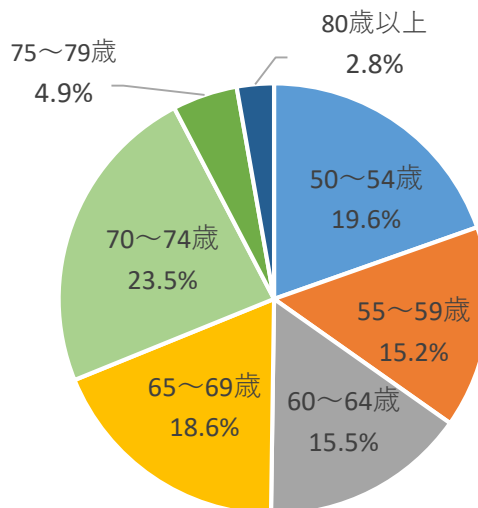


図1 令和2年1月～令和3年9月請求胃がん検診(胃内視鏡検査)受診者における年齢階級別割合

2 生検

令和2年1月～令和3年9月請求の受診者のうち、検診時に生検を受診した者は延べ228名(胃部と胃部以外の重複受診者3名含む)、うち胃部の生検結果がGroup2～5であった者は、10名であった。

表2-1 令和2年1月～令和3年9月請求胃がん検診(胃内視鏡検査)生検実施数及び生検率

生検部位	実施数(人)	生検率(%)
胃部	187	10.6%
胃部以外	41	2.3%

表2-2 令和2年1月～令和3年9月請求胃がん検診(胃内視鏡検査)生検実施者における生検

生検部位	該当者数(人)							合計
	Group1	Group2	Group3	Group4	Group5	X	その他	
胃部	176	4	0	3	3	0	1	187
胃部以外	25	0	0	0	0	4	12	41

3 読影判定

表3 令和2年1月～令和3年9月請求胃がん検診(胃内視鏡検査)一次読影判定及び二次読影判定

		二次						合計
		A	B-1	B-2	B-3	C	D	
一 次	A	1,529	5	2	0	2	3	1,541
	B	35	0	149	2	1	0	187
	C	12	0	0	0	19	0	31
合計		1,576	5	151	2	22	3	1,759

- A 異常なし
- B 胃がんを疑う所見あり
- B-1 当日生検なし、胃がんを疑う所見あり
- B-2 当日生検あり、生検部位に胃がんを疑う所見あり
- B-3 当日生検あり、生検部位以外に胃がんを疑う所見あり
- C 胃がん以外の悪性疾患またはその疑い
- D 読影部位が不足しているため判定不能

4 要精検者

(1)内訳

令和2年1月～令和3年9月請求の要精検率は13.1%、精検受診率は86.6%であった。精検受診者には、検診時に生検を受診した者で生検結果の報告があった者も含まれる。

精検(生検または再検査)結果の内訳としては、「胃ポリープ」や「胃炎」と診断された者が多く、「胃がん」と診断された者は5名であった。

表4 令和2年1月～令和3年9月胃がん検診(胃内視鏡検査)要精検者内訳

		令和元年度 (令和2年1～3月)	令和2年度	令和3年度 (令和3年4～9月)
受診者数(人)		115	1,033	611
要精検者数(人)		18	121	92
	生検実施	17	116	92
	要再検査※	1	5	4
	生検未実施	1	5	0
要精検率		15.7%	11.7%	15.1%
精検受診者数(人)		17	120	64
	生検実施	17	116	64
	生検未実施	0	4	0
精検受診率		94.4%	99.2%	69.6%
精検結果内訳(人)	異常なし	1	2	5
	胃がん	0	3	2
	胃がん疑い	0	0	0
	胃がん以外の疾患	16	115	57
	胃ポリープ	4	19	9
	胃・十二指腸潰瘍(癒痕含む)	2	13	4
	胃びらん	2	38	19
	胃炎	3	28	19
その他	5	17	6	
未受診/未把握者数(人)		1	1	28
	生検実施	0	0	28
	要再検査※	0	0	1
	生検未実施	1	1	0
がん発見率		-	0.29%	0.33%
陽性反応適中度		-	2.48%	2.17%

※要再検査:生検実施者のうち、総合判定で胃がんまたはその疑いと判定された者

参考) 胃エックス線検診の許容値

要精検率	11.0%以下
精検受診率	70%以上
がん発見率	0.11%以上
陽性反応適中度	1.0%以上

(2)胃がんであったケースの詳細

令和2年1月～令和3年9月請求受診者のうち、5名が「胃がん」と診断されている。

個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。

5 総合判定 5 と判定されたケース

令和 2 年 1 月～令和 3 年 9 月請求受診者のうち、総合判定 5:胃がん以外の悪性疾患またはその疑いと判定された者は 11 名であった。うち、精検(再検査)受診者は 7 名で、結果は「異常なし」「胃ポリープ」「胃炎」「胃以外の悪性疾患(悪性リンパ腫、食道がん疑)」「胃以外の良性疾患(十二指腸炎)」であった。

6 検診実施医療機関別プロセス指標

表 5 令和 2 年 1 月～令和 3 年 9 月請求胃がん検診(胃内視鏡検査)実施医療機関別実施

個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。

